

平成二十八年度

第五回 富士宮市景観賞

最優秀賞 協働で品格のある邑づくり^{むら}

優秀賞 内房南沢ほたるの里

優秀賞 K2ビジョン・お土産処きうち屋^{ター}

～なまこ壁を活かした神田通りのまちなみづくり～



富士宮市
平成28年8月1日

最優秀賞

協働で品格のある^{むら}邑づくり



活動場所：富士宮市原（平成棚田、原川親水公園、白糸自然公園など）

活動団体：ふじのくに美しく品格のある邑「白糸の里」

活動開始年：平成26年～（母体の「いいな故里は、守ろう原睦み会」は平成19年活動開始。）

原地区の子供から高齢者までが参加し、活動する「協働の^{むら}邑」が「白糸の里」であり、「協働の精神」を「邑の宝」として活動しています。

古くは室町時代から村民の手掘りによる農業用水路（原川）の施工があり、現代では、ほ場整備事業による平成棚田、原川整備工事（「みだれ石積み護岸」採用）などの際、美しい棚田や自然が将来まで残るよう地区の住民が一致団結して努力をしました。

また、定期的な道路清掃、富士山と四季折々の花や稲を見ながら歩く「平成棚田ノルディックウォーキングコース（※）」の整備や、地域発祥の三椏の栽培と駿河和紙の復活を目指すなど幅広い活動を行っています。

次世代に景観を継承する活動があり、その結果として「平成棚田」や「原川親水公園」などの美しい景観が作り出されている点が高く評価されました。

※平成27年9月「新日本歩く道紀行ふるさとの道100選」に認定されました。



優秀賞

内房南沢ほたるの里

活動場所：富士宮市内房山口町地先
 活動団体：内房南沢ほたるの里
 活動開始年：平成10年～

内房南沢ほたるの里は、美しい里山や水辺の景観、生き物が生息する自然環境などを地域の宝と捉え、それを守り育てる目的で山口町の有志によって生まれました。

特に、この地域に生息するほたるの育成に力を注ぎ、ほたるが生息しやすい水辺環境の管理・保全のほか、幼虫の保護作業など長年にわたる地道な活動の結果、今では、5月下旬から7月初旬の間、およそ2万匹から3万匹のほたるが舞う県内屈指の生息地域となり、県内外から多くの方が訪れています。

河川を守り、農薬を使わない田んぼづくりをするなど、水辺環境の管理・保全から始まる地道な活動を長年継続されている点が評価されました。



優秀賞

ケーツー K2ビジョン・お土産処きうち屋 ~なまこ壁を活かした神田通りのまちなみづくり~

所在地：富士宮市大宮町7-19、大宮町8-1
 事業主体：株式会社 きうちいんさつ

富士宮市空き店舗等対策事業補助金を活用し、無料休憩所と宣伝用スクリーンを併設した「K2ビジョン」、富士山関連の土産物屋、「お土産処きうち屋」を平成27年に開店しました。

「K2ビジョン」の宣伝用スクリーンでは、市内の民間企業のPRや市が発信する富士宮の情報を映しています。

「お土産処きうち屋」は、木材を多用し、なまこ壁を活かした改装を行い、神田通りのまちなみづくりに貢献しています。

シャッターが下りている空き店舗が並ぶまちなみを何とかできないかという情熱と、既存のなまこ壁を活かした改装が評価されました。



奨励賞

井之頭中学校 学校林「希望の森」づくり

活動場所：富士宮市猪之頭999地先 井之頭中学校学校林

活動団体：希望の森を育てる会

活動開始年：昭和60年～

井之頭中学校にある約4.5haの学校林を昭和60年に「希望の森」と名付け、同時に生徒会活動として「希望の森委員会」、地域に「希望の森を育てる会」が発足しました。

PTAの奉仕活動や会の趣旨に賛同する地域の人等と一緒に森を守り、広葉樹や野草、野鳥を観察できる森を育てています。

また、平成26年度から「希望の森再生プロジェクト」を開始。針葉樹の間伐作業や地元の茅を使ったあずまやづくりなどを行い、来訪者にとっても快適で心地よい景観を生み出しています。



景観づくり活動部門

奨励賞

北山・辻・道地自治会コミュニティ広場

所在地：富士宮市北山2636-2地先

活動団体：北山・辻・道地自治会

活動開始年：平成7年～

活動団体である北山・辻・道地自治会は、北山1区2町内の4・5・6班で構成されています。先人から伝わった共有地を自治会の所有に移し、地域のコミュニティ広場として整備・管理しています。

10月の新嘗祭に併せて「山の神講、レクスポ大会」を実施し、文化を継承する地域の後継者の育成を図るほか、清掃や草刈りの実施など環境の美化に努めています。



まちなみ・うるおい部門

奨励賞

四季彩の森づくり

活動場所：富士宮市柚野地先（柚野山、興徳寺）

活動団体：NPO法人 YUNOどんぐりの会

活動開始年：平成23年～

活動団体である「NPO法人 YUNOどんぐりの会」は、「春の新緑、夏のカブトムシ、秋の紅葉、冬の落ち葉踏み等を楽しみ、子供たちがどんぐり拾いのできる、全ての生き物に優しい里山の復活」を目指して平成23年に設立しました。

山林所有者の協力を得て放置林を伐採し、広葉樹を植えるほか、草刈りや間伐、補植、管理道路の整備など様々な活動を行っています。

また、毎年開催する植樹祭では、柚野小学校の児童が参加し、柚野の景観の継承と郷土愛を育む機会になっています。



景観づくり活動部門

奨励賞

人々の学び・交流の場 湧水を活かした中心市街地のビオトープづくり

まちなみ・うるおい部門

所在地：富士宮市浅間町1-8（イオン富士宮店敷地内）

活動団体：富士宮ビオトープをつくろう会

活動開始年：平成13年～

活動団体である「富士宮ビオトープをつくろう会」は、平成13年に実施されたまちづくりワークショップ会議をきっかけに、中心市街地に湧水を活かした水と憩いの場・自然環境の学習の場を作りたいという想いで結成されました。

当時、出店計画のあったイオン株式会社がその想いを受け入れて造成に協力しました。その後の維持管理を会が行っており、多種多様な生き物が住む、学びの場、交流の場として機能しています。



奨励賞

富士宮富士急ホテル ～富士山を眺望する駅前にふさわしい外観づくり～

富士山部門

所在地：富士宮市中央町15-18

所有者：富士宮富士急ホテル

設計者：株式会社 ムラヤマ

建設から30年経過し施設の老朽化・汚損が目立っていたことから、『LIGHT（気軽さ）&LUXE（上質感）』をコンセプトに外装のリニューアルを行いました。

開業より設置していた屋上広告塔を景観上・安全対策上の対応として撤去しています。

富士山と調和する色彩や外観の変更が評価されました。



第5回 富士宮市景観賞について

概要

富士宮市景観賞は、優れた景観の形成に貢献しているまちなみ、建築物、広場、水辺、森林、農地等及び活動団体等を表彰し、その内容を広く公開することで、景観に対する市民意識を高め、本市の美しい景観づくりに寄与することを目的に、1年おきに開催しています。

募集対象

- ・市内で優れた景観の形成に貢献しているまちなみ、建築物、広場、水辺、森林、農地、活動団体等
- ・道路などの公共の場所から見るができるもので、人が何らかの関わりを持って形成されているもの

募集部門

まちなみ・うるおい部門

- 歴史、文化を残しているまちなみ、地域の個性と魅力が活かされているまちなみ、背景となる山や川等と調和しているまちなみ
- 周囲の環境と調和して景観を引き立たせている建築物、新たな景観資源となるシンボリックな建築物
- 緑化や広場の創出、水辺、森林、里山、屋敷林や農地の活用・保全などで、水と緑、自然を活かした魅力的な景観をつくりだしているもの
- まちかどや集落の小空間を利用してうるおいを創出しているもの
- 周囲の環境と調和し、意匠・色彩・素材などの表現が優れた屋外広告物、工作物など

富士山部門

- 富士山を引き立たせる風景を創出して利用・管理されている農地や森林
- 富士山の景観と調和した建築物、屋外広告物など
- 富士山の景観を守り、育てていくための活動

景観づくり活動部門

- 良好な景観形成に寄与する活動や市民に親しまれているイベント、まちづくり活動などで、魅力的な景観を創り出しているもの又は景観上好ましくないものを取り除く活動

表彰基準

最優秀賞・優秀賞

特に優れているもの（対象の所有者等又は団体及び設計者）に対し、富士宮市長から「最優秀賞」「優秀賞」を授与します。（原則として最優秀賞1件、優秀賞2件）

奨励賞

「最優秀賞」「優秀賞」受賞地区以外で以下のいずれかに該当するものに対し、富士宮市景観審議会会長より奨励賞を授与します。

- ・5年以上活動を継続している又は今後の活動が期待できる団体等
- ・周辺との調和を図りつつも、固有の特性や持ち味を有する建造物の所有者等及び設計者
- ・市内の新たな景観を独自の視点で発掘した者

特別賞

富士宮市景観賞実施年の前年度及び前々年度の静岡県景観賞受賞地区に対し、「特別賞」を授与します。ただし、最優秀賞及び優秀賞受賞地区を除きます。

※まちなみ等、表彰対象物の関係者が複数となる場合も総じて1件を表彰します。

審査

応募件数

8件（募集期間：平成27年12月10日～平成28年3月10日）

審査

平成28年度第1回富士宮市景観審議会（平成28年5月24日開催）において審査（現地調査）を行い、最優秀賞1件、優秀賞2件、奨励賞5件を決定しました。特別賞は該当がありませんでした。

審査委員

第5回富士宮市景観賞 審査委員（富士宮市景観審議会 委員）名簿

委員長	天野 光一	日本大学理工学部 教授	佐野 貴彦	富士宮緑化事業協同組合 理事
	菅原由美子	菅原由美子観光計画研究所 主宰	太田 和雄	富士宮花の会 会長
	大久保あかね	常葉大学経営学部 教授	石川 一廣	富士宮市区長会 会長
	外記 省吾	写真家	増田 恭子	富士宮商店街連盟 会長
	渡井 正二	郷土史研究者	前川 利聡	静岡国道事務所長
	木下 富之	富士宮市域自然調査研究会 会長	杉本 宏之	富士砂防事務所長
	渡邊 和彦	富士宮美術協会	安達 行彦	富士土木事務所長
	藤田 和也	一般社団法人富士建築士会 評議員	田島 章次	富士農林事務所長
	小松 實	富士宮建設業協同組合 理事長		（順不同、敬称略、審査日時点）